

# 記入例

別記様式第1号の2の2（第3条の2、第51条の9関係）

防火  
防災  
管理者選任（解任）届出書

令和5年 4月 1日

京都中部広域消防組合 亀岡 消防署長 様

管理権原者

住 所 京都府亀岡市荒塚町1丁目9番1号

氏 名（法人の場合は、名称及び代表者氏名）

電話番号 株式会社消防 代表取締役 消防 太郎

下記のとおり、  
防火  
防災  
管理者を選任（解任）したので届け出ます。  
記

防火対象物 又は 建築物その他の工作物	所在地	京都府亀岡市篠町篠向谷5番地の1		電話 (0771) 23-0119			
	名称	京都消防料理					
	管理権原	<input checked="" type="checkbox"/> 単一権原 <input type="checkbox"/> 複数権原	複数権原の場合に管理権原に属する部分の名称				
	用途 <sup>※1</sup>	飲食店	令別表第1 <sup>※1</sup>	(3)項 <input type="checkbox"/>	収容人員 <sup>※1</sup>	40人	
	種別	<input checked="" type="checkbox"/> 甲種 <input type="checkbox"/> 乙種					
	区分	名称		令別表第1	収容人員		
	令第2条を適用するもの <sup>※2</sup>			( )項			
令第3条第3項を適用するもの <sup>※2</sup>			( )項				
防火・防災管理者	選任	氏名（フリガナ）	中部 花子				
		住所	京都府南丹市園部町上木崎町大將軍19番地2				
		選任年月日	令和5年 2月 1日				
	資格	職務上の地位	店長				
		講習	種別	<input checked="" type="checkbox"/> 防火管理 ( <input checked="" type="checkbox"/> 甲種 ( <input checked="" type="checkbox"/> 新規講習 <input type="checkbox"/> 再講習) <input type="checkbox"/> 乙種)		<input type="checkbox"/> 防災管理 ( <input type="checkbox"/> 新規講習 <input type="checkbox"/> 再講習)	
			講習機関	京都中部広域消防組合			
			修了年月日	令和4年 11月 29日	年 月 日		
解任	その他	<input type="checkbox"/> 令第3条第1項第( )号( )		<input type="checkbox"/> 令第47条第1項第( )号			
		<input type="checkbox"/> 規則第2条第( )号		<input type="checkbox"/> 規則第51条の5第( )号			
	氏名						
	解任年月日	年 月 日					
	解任理由						
その他必要事項							
受付欄 <sup>※3</sup>							
経過欄 <sup>※3</sup>							

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。  
2 □印のある欄については、該当の□印にレを付けること。  
3 ※1欄は、複数権原の場合にあっては管理権原に属する部分の情報を記入すること。  
4 ※2欄は、消防法施行令第2条を適用するものにあつては同一敷地内にある同令第1条の2の防火対象物ごとに、同令第3条第3項を適用するものにあつては管理権原に属する部分ごとに記入すること。欄が不足する場合は、任意で書類を作成し添付すること。  
5 消防法施行令第1条の2第3項第2号及び第3号の防火対象物にあつてはその他必要な事項の欄に工事が完了した際の防火対象物の規模を記入すること。  
6 消防法施行令第3条第2項又は同令第47条括弧書を適用するものにあつてはその他必要な事項の欄に管理的又は監督的な地位にある者のいずれもが防火及び防災管理上必要な業務を適切に遂行することができない理由を記入すること。  
7 防火・防災管理者の資格を証する書面を添付すること。  
8 ※3欄は、記入しないこと。

## 防火・防災管理者選任（解任）届出書 記入要領

※ 届出書には、防火（防災）管理者の資格を証する書面のコピーの添付が必要ですので、ご準備ください。

※ 不明な箇所は、消防署に届け出される際、窓口で確認のうえ記入していただいても構いません。

番号	項目	確認事項
①	年月日	届出書の提出年月日を記入します。
②	宛先	建物を所轄する消防署長宛てとします。 （例：亀岡市内の場合は「亀岡消防署長」宛て、南丹市及び京丹波町内の場合は「園部消防署長」宛てになります。）
③	管理権原者	1 届出を行う建物又はテナント管理権原者の住所及び氏名を記入します。 2 法人の場合は、法人登記されている所在地、名称及び代表者の職・氏名を記入します。 3 個人企業の場合は、代表者個人の住所及び氏名を記入します。
④	防火・防災	「防火」又は「防災」のうち、該当する方の□印にそれぞれ「レ」を付けます。
⑤	所在地・名称	当該建物の所在地及び名称を記入します。
⑥	管理権原	建物の管理権原が分かれていない場合は「単一権原」の□印に、分かれる場合は「複数権原」の□印にそれぞれ「レ」を付けます。
⑦	管理権原に属する部分の名称	複数権原の場合、当該届出をする管理権原者の権限が属する部分の名称を記入します。 （例：3階 居酒屋△△）
⑧	用途	建物の用途を記入します。 （例：飲食店、工場、事務所、複合用途） 複数権原の場合、当該届出をする管理権原者の権限が属する部分の用途を記入します。
⑨	令別表第1	前⑧の欄に記載した建物の用途を、消防法施行令別表第1に掲げる用途区分及び項区分に従い記入します。 （例：（3）項ロ、（12）項イ、（15）項、（16）項イ）
⑩	収容人員	消防法施行規則第1条の3の算定基準に基づき算定した収容人員を記入します。 複数権原の場合、当該届出をする管理権原者の権限が属する部分の収容人員を記入します。
⑪	種別	消防法施行令第3条の建物の区分に応じ、該当する□印に「レ」を付けます。

⑫	※令第2条を適用するもの	同一敷地内に同一権原の2以上の棟がある場合、各棟の名称、用途及び収容人員を記入します。(棟が多く書ききれない場合は「別紙のとおり」とし、別紙を添付します。)
⑬	※令第3条第3項を適用するもの	届出者の管理する事業所がテナントである等、複数権原に分かれた建築物の一部分で、かつ当該部分が乙種防火管理講習修了者を防火管理者とすることができる部分である場合、当該部分(事業所)の名称、用途及び収容人員を記入します。(書ききれない場合は「別紙のとおり」とし、別紙を添付します。)
⑭	氏名・住所	防火(防災)管理者となる者の氏名、住所を記入します。
⑮	選任年月日	防火(防災)管理者として選任された年月日(又は届出年月日)を記入します。
⑯	職務上の地位	防火(防災)管理者として選任された時の組織上の役職等を記入します。(例:「総務部長」、「支店長」)
⑰	種別	<p>1 防火管理者</p> <p>(1) 受講した防火管理講習が甲種の場合 甲種の□印に「レ」を付け、新規講習のみ受講の場合は新規講習の□印に、再講習を受講している場合は再講習の□印に「レ」を付けます。</p> <p>(2) 受講した講習が乙種の場合 乙種の□印に「レ」を付けます。</p> <p>2 防災管理者</p> <p>防災管理の□印に「レ」を付け、新規講習のみ受講の場合は新規講習の□印に、再講習を受講している場合は再講習の□印に「レ」を付けます。</p>
⑱	講習機関	防火(防災)管理講習を受講した機関名を記入します。 (例:「京都中部広域消防組合」、「(一財)日本防火・防災協会」)
⑲	修了年月日	講習を受けた修了証に記載されている修了年月日を記入します。再講習を受講している場合、最後に受講した修了証に記載されている修了年月日を記入します。
⑳	その他	講習修了以外の資格者を選任する場合の根拠法条及び資格内容を記入します。(例:「省令第2条第1号(安全管理者)」、第7号(消防団員3年以上管理的又は監督的な職(班長以上)にあったもの))
㉑	氏名	防火管理者を解任される者の氏名を記入します。
㉒	解任年月日	防火管理者を解任された年月日(又は届出年月日)を記入します。

②③	解任理由	「転勤」、「退職」等、具体的に理由を記入します。
②④	その他必要な事項	建物の一部の管理権原者として届け出る場合、その管理について権原を有する範囲を記入する等、その他必要な事項がある場合は記入します。